

「みどり・市民ネット」は「●市民参加と情報公開による市民本位の市政の実現●市民にわかりやすく開かれた議会をめざす●地方分権時代にふさわしい意思決定・チェック機関として議会を活性化●それぞれの政治的立場や見解の違いを尊重し協力・協働」を基本姿勢とする超党派の6人会派です。所属議員は独自に活発に活動しています。



小金井市議会議員

2012年5月7日

片山かおるの ちょっとカエル通信

33号



おとな子どももいっしょに育つ町にしよう

小学校の給食が民間委託!? 子どもたちの食の安全は守れるのか?



予算委員会 (3/8~3/20)

来年度予算は(一般会計369億4500万円、特別会計も含むと568億2784万円)賛成多数で可決。私の所属する会派みどり・市民ネットの数人で、一般会計、介護保険、国民健康保険、下水道会計、墓地条例、職員手当、職員退職金について予算や条例の修正案を提出しましたが、すべて否決。

放射能対策新規予算がまったく無く、国体のリハーサル大会に多額でどんぶり勘定の予算をつけるなど、真に必要な事に配分されていません。

介護保険、国民健康保険の大幅値上げは、一般会計の厳しい状況と連動。経済的に厳しく家族の多い家庭に負担が直撃することに。

また、今年の9月までに小学校5校の給食調理を民間委託する方針が判明。3月中に保護者説明会は開かれず、厚生文教委員会や給食の検証委員会にも提案されていません。中学校給食調理の民間委託の検証は不十分です。委託で出た財政効果は、給食の充実ではなく「明日の小金井教育プラン」のために使うという答弁。正規調理員が9人も欠員となっていますが、市長は調理員の正規補充はしない方針。学校・保育園給食の放射能測定予算も組まれていません。行革のための調理委託ではなく、栄養士が育つ環境を保持し食の安全を守る方策を、保護者とともに早急に検討するべきです。

片山かおるの一般質問3/1 (木) 14時~

震災・原発事故避難者に、 もっと手厚い支援を!

◇小金井への福島、岩手、宮城からの避難者は、2/9時点では128人。3月の段階では86人。全国避難者登録システムに登録していない人には支援情報が十分に行き届きません。小金井の担当窓口は地域安全課ですが、社会福祉協議会やボランティアセンターと連携していく必要があります。住宅、就職、学校、保育園、医療、賠償、各生活相談など、自治体で細かくニーズを把握して、関係窓口や支援者を紹介する仕組み作りや、声をあげにくい避難者の代わりに、市が国や都へ要望していくことも重要です。

◇4月からの教育施策に「子どもの権利に関する条例」のリーフレットの活用が盛り込まれました。子どもの権利条例について、子ども自身がしっかりと理解して活用するためには、学校での取組みが大きな役割を果たします。特に意見表明権の認識が重要!

日曜議会2/26(施政方針への会派別質問)

私は「原発事故以降の社会と小金井の役割」と「参加と協働のまちづくり」について聞きました。稲葉市長は原発への疑問と生活様式の変換について述べられました。放射能測定器については21年間使い続けているにも関わらず、これからも長く使ってほしいと答弁。市民協働のありかた検討委員会の答申は活用したいとのこと。原発への考え方を改めたにも関わらず、多くの被災地の首長が参加し4/28に発足した「脱原発首長会議」へは、参加するもしないも回答さえしていません。ぜひ参加して脱原発の意志をしっかりと示してもらいたいものです。

●ごみ処理施設建設等

調査特別委員会(3/14)

2011年度の可燃ごみ処理量は約12,600t(家庭系ごみ)、予想より大幅な減となりそうです。11月のごみ危機が大きな原因という稲葉市長の答弁。前原小と南小でも始まった、学校の生ごみ処理機での家庭の生ごみ投入は、11月をきっかけに開始されたとのこと。2012年度のごみカレンダーには、出前講座で市民が提案したカーテン資源回収も盛り込まれました。靴や鞆をリサイクル事業所で月一回引き取り、東南アジアに送る試みも。剪定枝分別回収も需要が伸びています。佐藤市長辞職はとても辛い出来事でしたが、ごみの分別・減量に多くの市民が意識的に取り組んでいることは大きな収穫です。

●総務企画委員会(3/7、21)

2年後から住民税が一律の値上げとなる市税条例の提案。「復興増税」と銘打たれていますが、被災地の復興のためには一円も使われず、すべて小金井のために使われる値上げとなります。本会議で反対討論しました。

■被曝者援護法が検討されています

いわき市でも全会一致で採択された「被曝者援護法」の意見書が小金井市議会でも採択されました。原発被災者への十分な支援を国に求めるものです。現在、日弁連や市民団体からも意見が出され、国会でも検討されようとしています。

■武蔵野市などの施設見学

予算委員会でも質問した、八王子の母子生活支援施設と児童養護施設、池袋のエイズ啓発拠点地、武蔵野市の給食施設の見学に行きました。

母子生活支援施設がDV被害者支援にどのように繋がっているか、児童養護施設の実態と悩みがよくわかりました。エイズ啓発拠点は都の事業、もっと宣伝が必要。武蔵野の給食は中学校給食を始める際に調理委託を検討。市の設立した財団に委託し、職員は市からの派遣です。直営の良さを活かす試みとして注目できます。なにより産直にこだわる食材の選定、放射能測定に対する栄養士の意識の高さが印象的でした。

■「(仮称)小金井市放射線対応に関する危機管理調整会議」に注目

これまでいろんな議員から何度も指摘されていた放

射能対策の会議が、新しく創設された危機管理担当部長の下でようやく立ち上がりました。関係12課の課長が参加。空間線量対策、給食食材対策、測定室のあり方などを協議するそうです。

■消費者庁から放射能測定器の貸与が決定

食品の放射能測定器貸与の募集に手をあげたところ、貸与が決まりました。しかし機械が届くのは5月末から3~4ヶ月かかります。放射能測定器運営連絡協議会では、様々な測定器を見学して性能を見比べてきました。八王子の市民測定室の運営も見学しています。今後は新たな測定体制の構築が必要となってきます。



☆お知らせ☆

☆議会報告会

市議会の議会運営委員会では、議会基本条例の制定について検討を重ねています。試行的に議会報告会を行います。ぜひご参加ください。

5/13(日)午後5:00~7:00 萌え木ホールにて

☆議員定数削減についての公聴会

市議会議員定数削減に関する陳情と、議会改革として定数削減案が議会運営委員会で審議されています。市民の意見を聞く公聴会が開かれます。公述者を希望する方は5/1~15の間に議会事務局までお申込み下さい。

公聴会：5/29(火)午後6:00~市役所本庁舎3F 第一会議室にて



片山かおるプロフィール

1966年生れ。1期目、総務企画委員、ごみ処理施設建設等調査特別委員、青少年問題協議会委員、小金井市土地開発公社評議員会評議員、議会報編集委員。市民自治こがねい共同代表、片山かおるといっしょにかえる小金井の会、放射能問題に取り組む親たちと共に活動中。市民自治をめざす三多摩議員ネット、自治体議員政策情報センター、みどりの未来、福島原発震災情報センター、全国フェミニスト議員連盟、「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワークなどにも参加。

◇片山かおる 連絡先◇

小金井市中町3-10-10-103 TEL&FAX:042-316-1511
<http://katayamakaoru.net/> office@katayamakaoru.net
ツイッター：<http://twitter.com/#!/katayamakaoru>